

家を建てる前に
知って欲しいことが
あります



ぎふの木ネット協議会
CONCEPT BOOK

森の恵みに感謝します。

素晴らしい自然を守ります。

森も人も健やかにします。

森と調和し共に生きていきます。

私たちは、そんな未来を描いています。

すべては、 未来の森と 人のために

私たちは森の恵みに感謝し、未来を担う子供たちのために、
素晴らしい森林資源を守りたいと考えています。

そして、森も人も健やかに育つ「木の国岐阜」「木の国日本」を目指していきます。

森と人がちょうど良いバランスで共に生きていく。

私たちは、そんな未来を描いています。

木のチカラで家族が健康に!? 木のコト、森のコト30

森林率全国2位！森林が多い岐阜県

- 1 岐阜県の森林は面積の81%
- 2 豊かな郷土でのびのび育つ岐阜県産材
- 3 最高級の木材・東濃桧(ひのき)
- 4 木目が美しい長良杉

岐阜県産材はこんなところに！

- 5 県内施設で木を体感する

森のこと、知っていますか？

- 6 なぜ森は水を蓄えられる？
- 7 森は再生できるの？
- 8 間伐ってどういうこと？
- 9 間伐しないとどうなるの？
- 10 木を利用し、森を育てる
- 11 森が抱える問題とは？

知ってビックリ木のチカラ

- 12 コンクリートや鉄より強い!?
- 13 木は、なんと火にも強い!
- 14 夏涼しく冬暖かい木の家
- 15 木の力で除湿・加湿
- 16 転んでも安全な木の床
- 17 外国産材ではいけないの？

健康ライフを、木とともに

- 18 健康でいられる木の空間
- 19 木に囲まれて生活すれば長生きできる？
- 20 木のリラックス効果
- 21 木の力で免疫力アップ？
- 22 木の香りは記憶障害の改善にも効果があった
- 23 木の空間は良質な睡眠をもたらす

ぎふの木ネット協議会の想い

- 24 日本の森がヤバイ！という知られざる状況
- 25 材木屋は日本の木を選んでいる！
- 26 木を切り、森を守る
- 27 子供たちの世代を考える木材関係者が集結！

ぎふの木ネット協議会の家

- 28 「構造」を考えたこと、ありますか？
- 29 住宅には地域の木材がベスト
- 30 岐阜県産材を、もっと身近に



ぎふの木ネット協議会

*Both the forest and people are healthy.
The future that we should aim as a national of forest country.*

木のチカラで家族が健康に!?

もっと知りたい!

木のコト、森のコト

30

Ki no koto Mori no koto
- 30 facts about trees and forests -



品質の良さはピカイチ! 岐阜県産材って?

Section 2

豊かな郷土でのびのび育つ岐阜県産材

岐阜県は、日本アルプスはじめとする山脈で県境を囲われています。岐阜県産材として東濃地方を中心とした東濃桧や長良川流域の長良杉などが有名ですが、それ以外にも岐阜県産のヒノキ・スギが多く生息し、飛騨地方には、ブナやクルミ、ナラなどの広葉樹があります。



Section 3

東濃桧(ひのき) 最高級の木材



ヒノキは湿気に強く、しなやかで優れた耐久性があります。爽やかな香りが人気で、リラックスできる住空間を演出します。岐阜県東濃地方で産出されるヒノキは、ブランド材として全国的に知られています。

最高級品は、名古屋城や伊勢神宮で使用されるほどです。東濃地方は寒冷な気候のため、ヒノキは時間をかけて成長し、淡いピンク色が美しい木肌になります。また、木目が細かく詰まり、油分が多くねじれに強い良質な材木になります。

Section 4

木目が美しい長良杉



長良川流域で育つ長良杉は、木目が均等で美しく、きめ細かく柔らかな手触りが特長です。**木目に白太(しらた)と赤身が混在したものがあり、その美しさも魅力です。**床板に使用すると色が混じり、華やかに仕上がります。

森林率全国2位! 森林が多い岐阜県

Section 1

岐阜県の森林は面積の81%

岐阜県は日本のほぼ真ん中。飛騨地方には標高3,000mを超える高い山があり、美濃地方には木曾川・長良川・揖斐川が流れる豊かな自然があります。岐阜県の森林の面積は約862,000ha。全国で5番目に広く、琵琶湖の約13倍もの広さがあります。また、県の81%が森林であり、森林率(県の面積に占める森林の割合)は全国で2番目に高い割合です。



2018年 林野庁 都道府県別森林率資料より



岐阜県産材はこんなところに!

Section 5

県内施設で木を体感する

岐阜県内の様々な施設で県産材が使われており、木に囲まれた空間の心地よさを体感できます。岐阜県は、**県内複数箇所を「ぎふの木づくり施設」に認定し、木の良さや県産材を利用する意義を県民にPRしています。**



関市西部保育園

● 循環型社会構築に貢献

地域で育った木材を地域で適切に使うこと(地産地消)で山の手入れが行き届き豊かな森林を育み環境保全に繋がります。需要拡大を通して林業と地域経済の活性化により循環型社会の構築に貢献することが可能になります。

◎ 岐阜県森林組合連合会

森林組合は森林所有者が互いに共同して林業の発展を目指す協同組合です。組合員の経済的・社会的地位の向上を図ることと、森林の保続培養、森林生産力の増進を図ることを通じて国民経済の発展に貢献することを目的としています。

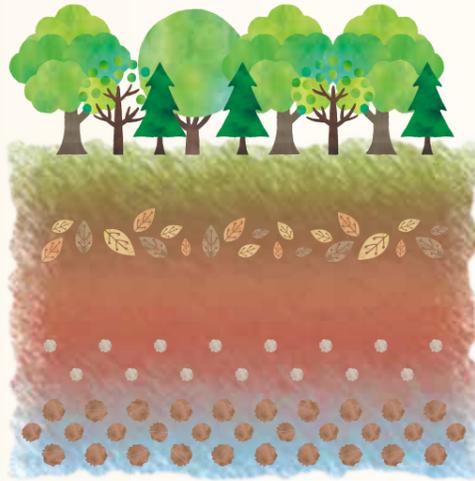
〒500-8356 岐阜県岐阜市六条江東2丁目5-6 TEL:058-275-4890



森のこと、知っていますか？

Section 6

なぜ森は水を蓄えられる？



森の土には小さな隙間がたくさんあります。土の上にたまった落ち葉を微生物が分解しているので、スポンジのように多くの水を蓄えることができます。雨水はゆっくりと土の中を流れて川に流れるので、洪水を防ぐことができます。

Section 8

間伐ってどういうこと？

混み合った森では、木同士で太陽光をめぐる競争が起こります。そのため少しずつ伐採して木材として利用し、残った木の成長を促し良質な木材に育てていきます。これが間伐です。



Section 7

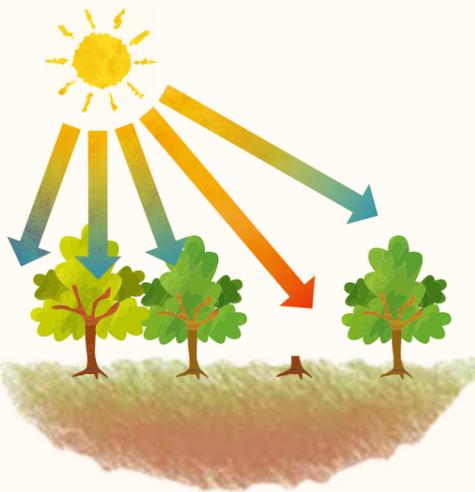
森は再生できるの？

木は成長するまでに何十年もかかりますが、植える→育てる→使う→植えるを繰り返すことで森を再生し、資源を作り続けることができます。



Section 9

間伐しないとどうなるの？

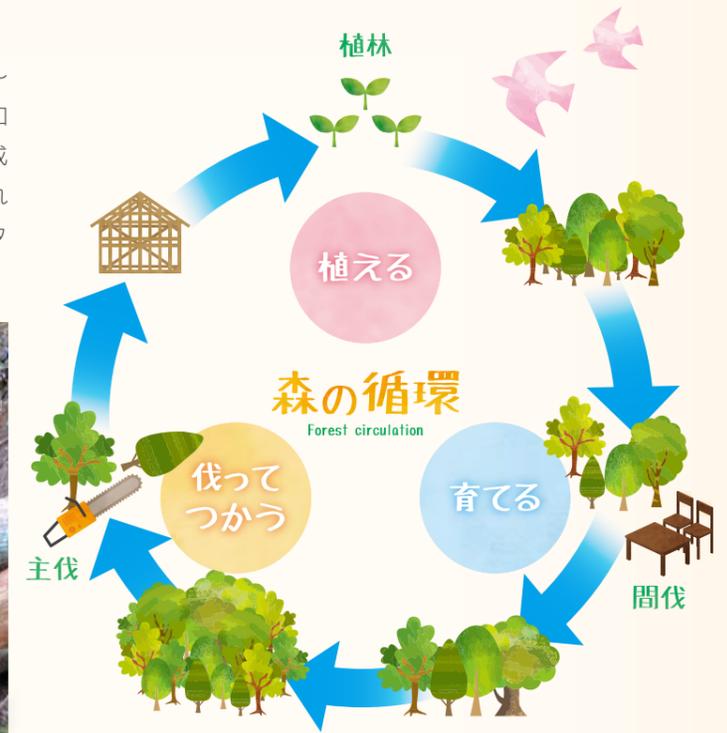


間伐をしないと、木の枝葉同士が接してしまい、地面に光が届かなくなります。すると光が当たらず木の成長が止まってしまう、幹が細く根を張る力がない木ばかりに。こうなると森が水を蓄えられず、大雨が降るたびに木が根こそぎ流され、災害の原因にもなるのです。

Section 10

木を利用し、森を育てる

現在の岐阜県の人工林は、植えられてから40～60年ぐらいたった木が多くなっています。昭和30～40年代ごろの戦後の復旧～高度経済成長で木が多く使われ、伐採後の山に植えられた木が成長してきたからです。これらの木をちょうど良いタイミングで伐採し、木材として利用することが重要です。



Section 11

森が抱える問題とは？

最近では木材の使用量自体が減ってきており、さらに安い外国産材がたくさん日本に入ってきていることで、国産材離れが進んでいます。また林業従事者の高齢化や後継者不足などの問題もあり、適切に間伐ができなかったり、森の木を適切なタイミングで伐採できなくなっています。このままでは森の循環サイクルが乱れ、荒れた森が増えてしまうおそれがあります。災害や地球温暖化を防ぎ、繰り返し使える資源を生み出す森の働きは全世界で見直されています。私たちの大切な故郷の森を守るためにも、木をもっと使っていきましょう。



● 地産都消で森林・山村を元気に

「世界農業遺産 清流長良川の鮎」を育む郡上の森林。そこから産する長良杉!!

木材価格の低迷による林業従事者の減少、山村人口も減少し、山離れ、山林の荒廃が加速して記録的豪雨による土砂流出や河川の氾濫が増えています。国産材＝県産材＝流域材。上流域の木材活用が促って使って、植えて、育てることになり、健康な森林になります。森林・山村を活性化することが環境を守ることに繋がります。

◎ 郡上森林マネジメント協議会

森林環境譲与税の有効活用を図るため、2019年2月15日に設立された協議会で岐阜県郡上市内の森林組合や林業・製材事業者など7団体が構成されています。新たな森林経営管理時代に向け、地域の森林を一元管理し事業者間の協働体制を築き川上～川中～川下の連携強化を促進する組織です。

〒501-4223 岐阜県郡上市八幡町稲成 525-7 郡上森林マネジメント協議会

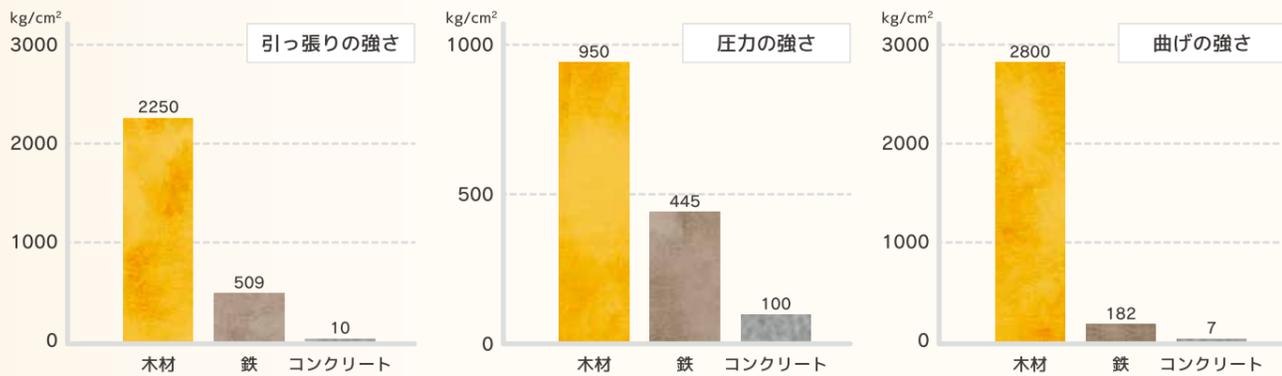
知ってビックリ木のチカラ



Section 12 コンクリートや鉄より強い!?

木の重さは、鉄の約10分の1以下、コンクリートの約3分の1以下。木造の建物は自重が軽いので、基礎地盤の補強への負担が少なく、地震による振動エネルギーがかかりにくいので、結果的に強度が高くなります。木材は軽い割には強い材料と言えるのです。その強さの理由は、木材の中にパイプのような細胞が無数に集まってできていることにあります。

建築材料の強度比較(単位重量あたり)

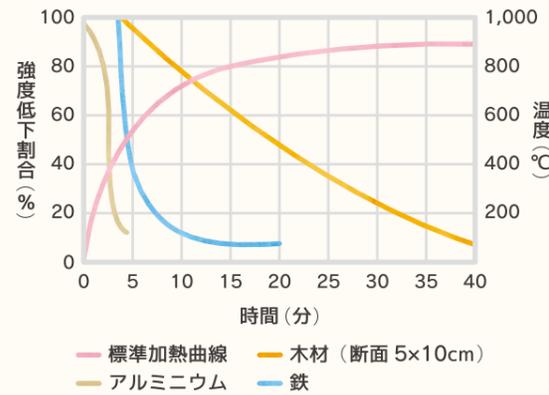


出典：財団法人日本木材備蓄機構・社団法人日本林業技術協議会「木をいかに」

Section 13 木は、なんと火にも強い!

マッチに火をつけて、そのまま最後まで燃やしたとしても、軸が燃え尽きてなくなってしまうことはありません。住宅に使う柱も同じです。たとえ表面が燃えても炭化層ができるので、内部まで火が進まず、残った芯部分で家を支え続けます。一方、鉄は火災時レベルの熱(800℃以上)を受けると急激に強度が低下し、変形してしまいます。木は火災に弱いと思われがちですが、実は鉄やアルミよりも熱に強いので、短時間で家が崩れ落ちることはありません。右のグラフは加熱実験の結果です。これによると木材は15分経過しても60%の強度を保っていることがわかります。

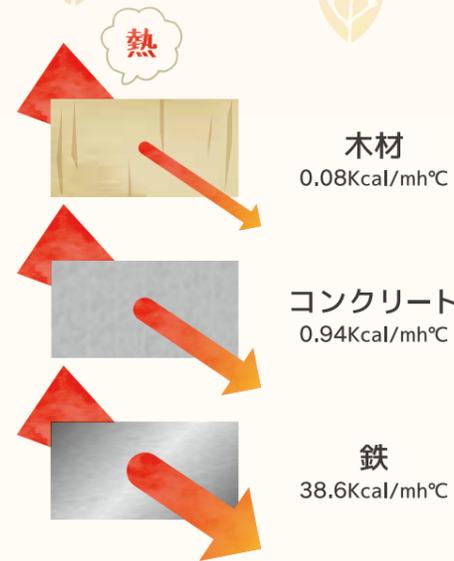
過熱による強度の低下



出典：(財)日本住宅・木材技術センター

Section 14

冬暖かい木の家
夏涼しく



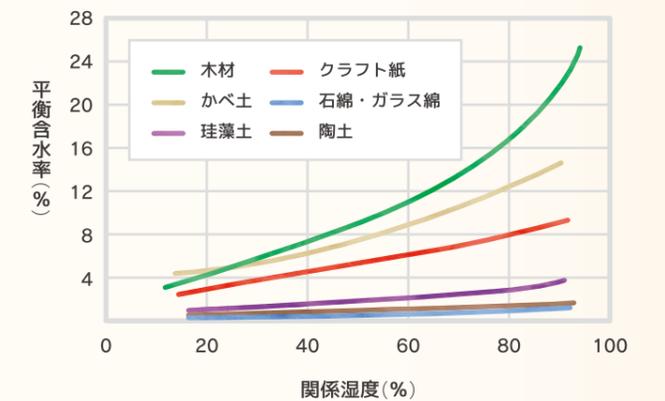
素足でコンクリートの床を歩くと冷たいのに、木のフローリングはあまり冷たくないと思ったことはありませんか? 木材は無数の細胞からできており、その中に空気が含まれるため、熱を伝えにくいのです。木材の断熱性はこの熱伝導率の低さによるもので、コンクリートの約12倍、鉄の約480倍という数値が出ています。

Section 15

木の力で除湿・加湿

木材は他の材料に比べ何倍もの水分を含んでいます。10.5cm角のスギ材の柱1本の中に、なんとビールビン2.5本分もの水分を含んでいるのです。そのうち20~40%の水分が出たり入ったりして、室内の湿度を適度に保ちます。

各種材料の平衡含水率



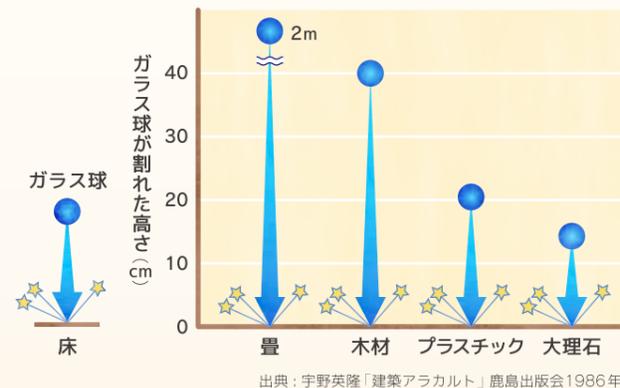
出典：上村 武「木づくりの常識非常識」学芸出版1992年

Section 16

転んでも安全な木の床

畳・木材・プラスチック・大理石の上に砂を詰めたガラス球を落下させ、素材毎の割れる高さを測定したもので、割れた高さが高いほど衝撃吸収力が高いと判断することができます。この結果によると木材は畳には劣るものの、他の素材に比べて衝撃吸収力が高いことがわかります。運動時は体に体重の5~6倍もの荷重がかかるため、衝撃がやわらぐよう体育館では木のフローリングが使われます。

床の硬さの比較



出典：宇野英隆「建築アラカルト」鹿島出版会1986年

Section 17

外国産材ではいけないの?

海外の木材は、温度変化があまりなく安定した天候で栽培されるもの。高温多湿の日本の風土に合わず、腐りやすかったり、シロアリに弱かったりします。家の土台は建てた後では修正できないので、住宅作りの際には慎重に検討したい部分です。木材を野ざらしにした比較実験では、外国産材のホワイトウッドは、いたんで朽ちているのがわかります。



Close UP!



約12年間屋外で曝露試験を行った結果

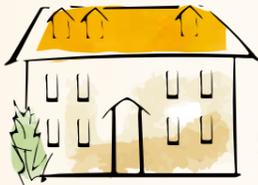
ヒノキ スギ ホワイトウッド



健康ライフを、木とともに

section 18 健康でいられる木の空間

老人ホームでケガや心身の不調について調べてみると、施設に木材が多く使われている方が、インフルエンザや骨折、不眠などの発生率が低いという結果が出ました。また、病原菌などをよせつけない素材として、内装を木質化する病院もあるそうです。



出典：全国社会福祉協議会
「高齢者・障害者の心身機能の向上と木材利用 - 福井施設内装材等効果検討委員会報告書」
調査期間：1997年12月から1998年1月

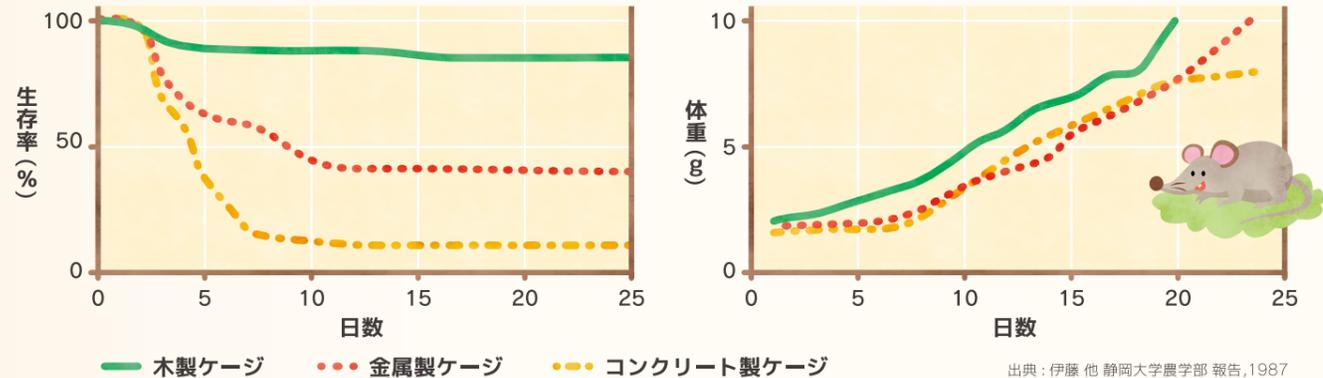
特別養護老人ホームにおける入居者を対象とした心身不調出現率比較

入居者の心身不調の内容	対入居定員比 (%)	
	木材の多い施設	木材の少ない施設
インフルエンザ罹患患者	16.2	21.4
ダニ等でかゆみを訴えた入居者	4.4	5.4
転倒により骨折等をした入居者	8.0	12.1
不眠を訴えている入居者	2.4	5.3

section 19 木に囲まれて生活すれば長生きできる？

マウスを使った実験では、木製の飼育箱で生活するマウスの生存率が、金属やコンクリートの飼育箱より生存率が高い結果が出ています。体重の変化を見ても同じことがわかります。木の香りのもとでマウスの運動量を調べたところ、無臭の場合に比べヒノキでは1.78倍、トドマツでは2.71倍も運動量が増えたという実験結果もあります。

飼育箱別のマウスの生存率と体重の変化



● 快適で健康な暮らしに木の力を

人間は元々木と暮らしてきた。その持つ力無しにこの地球上で命をつないでいくこともできなかったはずである。近年の科学技術の進展は、合理性やスピードを追求するあまり、木の有り難さ、その性能の素晴らしさを忘れさせてしまった。科学技術の力を借りて、木の持つ本来の力を、快適で健康な暮らしに役立てるようにしたいものである。



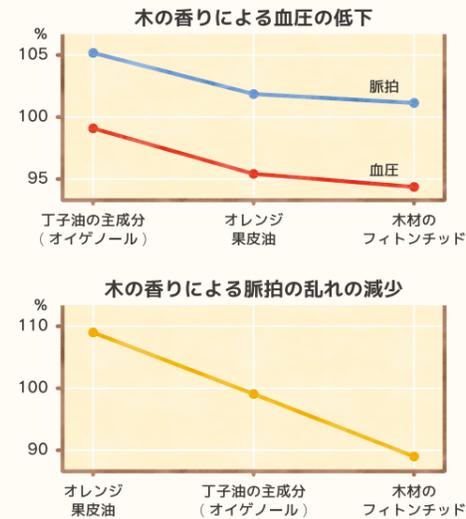
◎ 箕浦 秀樹 (みのうら ひでき) 岐阜大学 名誉教授

1944年、岐阜県生まれ。岐阜大学工学部で未来型太陽電池などの工業物理化学分野の研究・教育に携わった後、岐阜県研究開発財団、岐阜県産業経済振興センターにて県内中小企業やNPO法人の支援などに携わる。現在、岐阜大学名誉教授。地元笠松町を中心に野鳥やトンボなどの身近な生き物を撮影し、それを教材とした教育支援活動も行っている。

section 20

木のリラクゼーション効果

木に含まれる成分には私たちがリラックスさせる効果があるようです。森林浴の主な成分といわれているフィトンチッドを使った実験では、血圧が下がり、脈拍も落ち着くという結果が出ています。

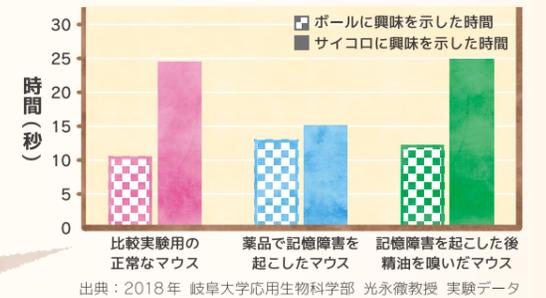


section 22 木の香りは記憶障害の改善にも効果があった

マウスに記憶障害を起こさせ、その後木の香りを嗅がせた実験では、木の香りを嗅いだマウスの方が記憶障害が改善しているという結果が出ました。

マウスは初めて見る物体に興味を示す性質があります。試験前日にボールを2つ見せ、当日に片方のボールをサイコロに変更。マウスに薬品を使って記憶障害を起こさせ、その後木の香りを嗅がせたマウスと嗅がせていないマウスを比較したところ、香りを嗅がせたマウスはサイコロに興味を示す時間が長くなりました。

木の香りによる記憶障害抑制効果



● 木材の香りで心も体も健康に

私の研究室では、ヒノキ科木材から得られる精油の香気成分がヒトの生理・心理に及ぼす効果について、細胞や動物を使って実験しています。これらの研究は、健康志向を目指す現代社会にとってきわめて重要な課題です。私たちの研究が、人や環境に優しい木材の香りを利用したメディカルアロマセラピーの利用開発を可能とし、ひいては木材産業の活性化に大いに貢献できると期待しております。



◎ 光永 徹 (みつなが とおる) 岐阜大学 応用生物科学部教授

1958年、鹿児島生まれ。九州大学農学部大学院修士課程卒業後、山陽国策パルプ(現在の日本製紙)にて高分子材料化学研究に従事。その後、三重大学生物資源学部の助手、助教授を務める。2004年に岐阜大学応用生物科学部に移り、天然物利用化学研究室を主宰。植物成分を利用した生理活性化学の研究に従事。趣味はスポーツ観戦とラーメンの食べ歩き。

section 23

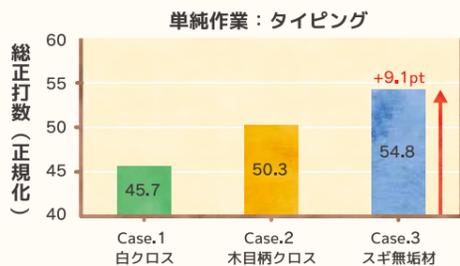
木の空間は良質な睡眠をもたらす

内装にどれだけ木が使われているかによって、睡眠の質が変わります。木材のリラックス効果によって良質な睡眠がもたらされることで、**日中の作業効率も高くなる傾向**があるのです。

	Case.1 白クロス	Case.2 木目柄クロス ※1	Case.3 スギ無垢材 ※1
内観図			
天井	ビニルクロス(白)	ビニルクロス(木目柄)	スギ無垢材
壁	ビニルクロス(白)	ビニルクロス(白)	ビニルクロス(白)
床	木目柄 クッションフロア	木目柄 クッションフロア	スギ無垢材 フローリング ※2

※1 2015年度被験者実験で木質化率50%ケースで鎮静効果が確認されたため、内装の約半分を木質化した空間を設定
※2 表層圧密加工したスギフローリング

出典：2018年 健康・省エネ住宅を推進する国民会議 報告資料
慶應義塾大学理工学部伊香賀教授の研究室の実験データ



section 26

木を切り、森を守る

日本の森において「木を切ることが森を守ることにつながる」という事実は、ユーザーの方にあまり知られていません。それどころか、森の状況すらよく知らないというのが現状です。知らないから放置していて良いのでしょうか？



section 27

子供たちの世代を考える木材関係者が集結！

世界ではSDGs(Sustainable Development Goals)の考え方が普及しており、大企業にとどまらず、中小企業や個人でも持続可能な地球環境を考える人が増えてきました。森林国日本において、森の問題は地球環境レベルの問題です。子供たちの輝かしい未来を考えると、私たち大人はどのような判断をすれば良いのでしょうか。そんな話が木材関係者の話題にあがったとき「未来の子供たちのために、日本の森、地元の森を守ろう！」という熱い思いを持ったさまざまな業種のメンバーが自然と集まり「ぎふの木ネット協議会」ができました。今では木材関係者にとどまらず、行政、学術機関、大手企業など全国各地から賛同してくれるメンバーが日々増えています。



2019年2月 設立ミーティングの様子

ぎふの木ネット協議会は、県産材の産学官連携サプライチェーンです。本協議会は、岐阜県の豊かな森を未来の子供たちへ残すため、岐阜県産材の需要を喚起する仕組みとサプライチェーンの構築に本気で取り組んでいます。

ぎふの木ネット協議会の想い



section 24

日本の森がヤバイ！という知られざる状況

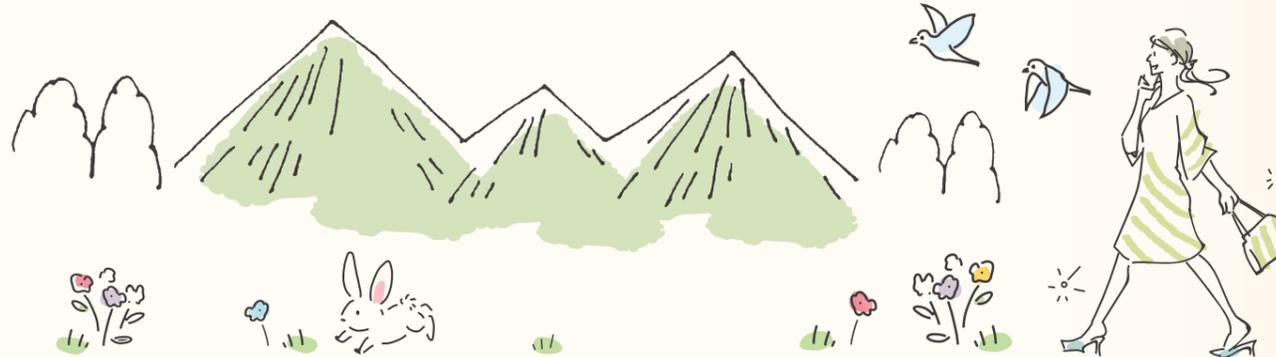


現在、山や森の保全に多くの税金が使われています。日本では、伐採される木よりも生えてくる木の方が圧倒的に多く、適切に取り引きされ材木となる木が少ないのが現状です。そのため、森へ還元される収入が減り、間伐や林道の整備などの森の管理が十分にできなくなります。

section 25

材木屋は日本の木を選んでいる！

林業や木材に携わる人々は、構造材には日本の木を選んで家を建てます。高温多湿でシロアリの多い日本で、住宅の耐久性や耐震性に関わる構造材に何を選ぶべきか知っているのです。しかし、国産材・県産材で家を建てたいというユーザーは多くありません。



SDGsとは

持続可能な開発目標とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現する17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。(外務省 ホームページより)



ぎふの木ネット協議会の家



Section 28 「構造」を考えたこと、ありますか？

家にどんな構造材が使われているか考えてみたことはありますか？構造材は目に見えない部分ですが「命を守る」という耐震性や耐久性の部分で一番重要な役割を果たしています。家具は古くなったり、気に入らなくなったりすれば買い替えることができます。内装はリフォームすることができます。しかし**家の構造材を後から交換することはできません**。だからこそ、家を考えるときには構造部分にとことんこだわって、慎重に考えていただき、最善の選択をしてほしいのです。

● 家の骨のはなし

キッチンや浴室などの住宅設備は取替えることができますが、構造に問題があると、補強工事や最悪建替えなど大掛りな工事が必要になります。間取りや設備に熱心な方は多いのですが、構造に関心を持たれる方は少ないようです。構造躯体（家の骨格）の性能は耐久性や耐震性などに表れます。様々なサイズや性能を持つ構造材を組み合わせることによって、家の構造性能が決定されるので、家の構造にも関心を持って頂きたいものです。

◎ 長良川木材事業協同組合

平成25年に設立された郡上市白鳥町にある7社・団体で構成された協同組合です。敷地面積約10万㎡に5,000㎡の製材・加工工場、研磨棟などの建屋を設置。50㎡の大型高温乾燥機15基、木質バイオマスボイラーなども備えています。木の皮はボイラーで利用し、チップ・おがなどは販売して余すことなく有効に活用しています。

〒501-5123 岐阜県郡上市白鳥町中津屋1385番1
TEL:0575-83-0318 FAX:0575-82-5028



Section 29 住宅には地域の木材がベスト

住宅の構造材にはどんな木材が良いのでしょうか。実は、その土地の土壌で育った木が、**その土地の気候や環境に一番適しています**。長年の災害に耐えて長く生き延びている法隆寺など昔からの建築物は、すべてその土地の木を使って建てられています。現代では、コスト優先の海外の木材が流通していますが、ぎふの木ネットでは、家本来の性能を高め安心できる家にするために、家の構造の大部分に県産材を使った住宅の提案をしています。産地に近い東海エリアに暮らす人こそ、県産材の良さを感じてほしい、使ってほしい、そんな思いから私達はぎふの木ネット協議会を立ち上げ県産材の普及活動を始めました。



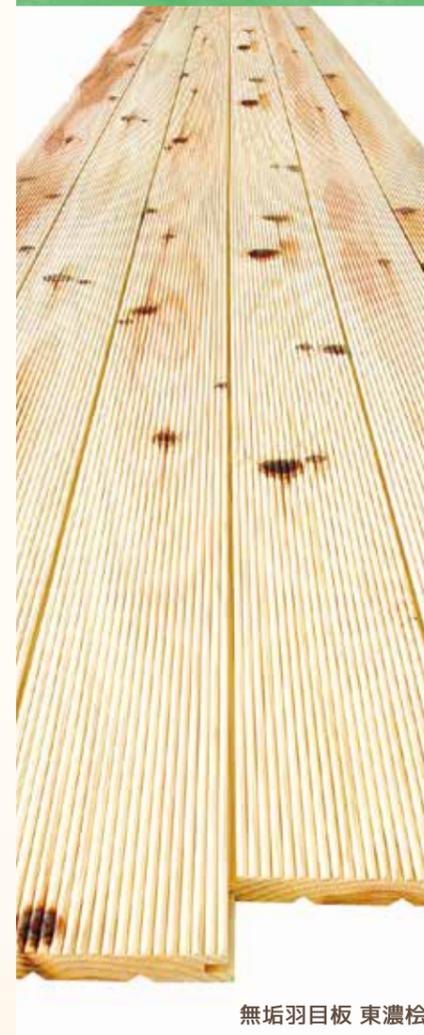
Section 30 岐阜県産材を、もっと身近に

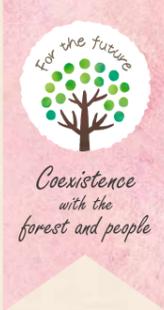
ぎふの木ネット協議会では、県産材の品質・流通・コスト・広報などを見直し、今までは高級住宅に使われていた岐阜県産材を**東海エリアに暮らす方の一般的な住宅にも使いやすい仕組み**を考えています。行政・学術機関・森林組合・民間企業が連携し、ユーザーの安全で快適な暮らしを提案します。また、学術機関との連携で日々木材の研究も進めており、岐阜県産材を内装に使うことで健康にどのような良い影響を与えるかなどの実証試験をして、ユーザーの暮らしのさらなる快適性を追求しています。



内装にも使える / 岐阜県産材をピックアップ

構造材だけでなく、内装にも使える岐阜県産材の一例をご紹介します。新築・リフォームで、県産材の豊かな木の表情に癒されるお部屋を作ってみませんか。





人も森も健やかに

ぎふの木ネットが目指す未来

私たちは森の恵みに感謝し、未来を担う子供たちのために
森林資源を守り伝えたいと考えています
そして、森も人も健やかに育つ
「木の国岐阜」「木の国日本」を目指していきます



Approach 1 本物の木にふれる体験を

親子で楽しみながら木を学ぶ

県産材を使ったモデルハウスの見学会や、親子で作る木工DIY体験ツアーなど、一般ユーザーが木に触れる機会を提供しています。そうすることで、国産材や県産材に興味を持ち、個人レベルで森そのものの繁栄を考えるきっかけになります。私達は性能が高く良質な国産材・県産材を選んで使用してもらうことが、環境面・健康面・経済面での健やかな生活につながると信じています。

「家を建てるなら国産材・県産材」が当たり前になる未来を願って。



Approach 2 1社では難しくても、団結して森を守る

森のため、力を合わせて活動

県産材に関わる中小企業にとって、ビジネスの適正な継続と拡大が森を守る活動につながる。協議会としてはそんな姿を目指していきたいと考えています。国産材・県産材の供給・流通・物流面においても協議会メンバーで連携し、新たなシステムや最先端の技術を導入することで森林環境やユーザビリティの改善を図ります。



Approach 3 異業種連携で大きなうねりを生み出す

業界の垣根を超えた取り組み

大切なのは、貴重な木材資源をバイオマスのように単にエネルギーとして燃やすのではなく、有効に使うこと。木を余すことなく使い切り、付加価値を最大化することが必要です。木を利用し将来を担う子供たちが健全に成長できる住環境を整える。これが我々の使命です。業界の垣根を超え、多くの人の英知を結集させることで、大きなうねりを生み出すことができます。



2019年4月 設立総会の様子



ぎふの木ネット協議会について

ぎふの木ネット協議会は、県産材の活用を推進し、岐阜の森を守る産官学連携のチームです。賛同する全国120以上の会社・団体が参加しています。メンバーは森林組合・林業関係・製材メーカー・プレカット工場・木材加工・流通から、設計や建築・不動産・金融・保険関係・デザイナー・建材メーカーまで、幅広い方に参加いただき多くの視点から企画運営をしています。



Approach 4 WEBサイトで発信!

最新情報や住まいのセカンドオピニオン

最新情報はWEBサイトやSNSを通して幅広く発信していきます。皆様のお悩みにお答えするだけでなく、木造建築のプロフェッショナルとして、ユーザーの皆様に住まいのセカンドオピニオンを行っています。建築会社やファイナンシャルプランナーなどの紹介も行っています。家づくりにかかわる様々な業者のネットワークでもあるので、多種多様なご質問やご相談にも対応いたします。

WEBサイト <https://gifunoki.net/>

ぎふの木ネット

検索



2019年7月現在

協議会の活動一例

研究および情報発信

- ウェブサイト、SNSによる情報発信
- 木や住宅の情報冊子を発行
- 県産材関連情報の取材
- 木材に関する研究 など



一般向けイベント企画

- モデルハウス構造見学会
- ライフプランセミナー
- 森と木とDIY体験ツアー など



県産材は
三方よし!?

森も人もうれしい 家づくり

木造建築や家具に県産材を使う事は
実はユーザー、業者、森林の
みんながうれしい三方よしにつながります

Point
1

ユーザーによし!



日本では「木材を選ぶ」習慣がありません。しかし外国産材と国産材の違いは明確です。高温多湿で地震が多く、気候変動の激しい日本の環境下では、地震やシロアリへの耐久性が求められます。木材はその成長過程で、環境から自らを守る工夫をしているので、地域の木が地域の気候に一番適しているのです。

県産材を
使うと



県産材を建築の構造に使う場合、耐震や防蟻などの面で耐久性が高くなり、安心できる空間となります。内装へ無垢の県産材を使うと、木材の調湿性能や消臭性能により空気の質が改善します。さらに、香りによってユーザーのストレスが軽減するなどのリラックス効果を高める効用を発揮します。

Point
2

建築業者によし!



全国展開の大手業者により、地域密着型の中小建築業者・工務店がシェアを奪われる厳しい時代です。しかし大手業者は同じ木材を大量供給する必要があり、日本の土壌に合わない外国産材を使用している場合も多いのです。

県産材を
使うと

地域の気候に適した県産材で建築をしたい場合、柔軟な対応ができる地域の中小建築業者で行う事になり、地域建築業の活性化につながります。建築業者は各施工の職人業者と連携して行っているため、それらの職人業者の活性化にもつながります。

Point
3

森林によし!



日本全体の林業の課題は“木が増えずにいること”です。しかし現在、林業の収益構造や人手不足により、木や森の管理ができていません。さらに安い外国産材の出現により、一層日本の森に還元される収益が減り悪循環になっています。

県産材を
使うと

県産材の流通が増えれば、地域の森に還元できる金額を増やすことができます。そうすると森の適切な管理、林道の整備、林業の雇用の増加等を行えます。それが未来の良質な木材を育てる事にもなり、森林全体の質が上がります。

誰に相談したら良いの?/ 家づくりフローチャート

ぎふの木ネット協議会は、東海エリアを中心として
全国から集まった産学官連携(行政・学術機関・民間)のチームです。
家を建てたりリフォームしたりという相談であれば、
各地に工務店・ビルダーなどの建築業、設計業、不動産業のメンバーがいます。
あなたの考えをぎふの木ネット協議会メンバーに相談してください。

Question1

家づくりのパートナー
(工務店・ビルダー)
がすでに決まっている

Yes

県産材・住宅カタログへ

ぎふの木ネットは、岐阜県産材を多数取り扱っており、家づくりに役立つカタログやパンフレットをご用意しています。構造材や内装、家具などに使用できる木材の参考にご覧ください。資料請求はホームページより承っております。



No

Question2

家づくりのパートナー
(工務店・ビルダー)
を自分で探したい

Yes

ぎふの木ネットホームページへ

ぎふの木ネットには、多数の工務店やビルダーが登録しています。お住まいの地域やご要望に合わせて、お客様にとって最適な業者を探ることができます。どのように業者を選べばいいかわからない場合はご相談ください。



No

Question3

資金計画から
第三者に相談したい

Yes

ファイナンシャルプランナーへ

ぎふの木ネットが提携しているファイナンシャルプランナーをご紹介します。住宅ローンや保険のことなどの、家を建てるために必要な資金計画のご相談ができます。ぎふの木ネットからのご予約も可能です。



No

ぎふの木ネット協議会事務局へ

家づくりでご不明な点がありましたら、ぎふの木ネット協議会事務局へご相談ください。住まいのセカンドオピニオンとして第三者的立場で工務店・ビルダー選びをサポートします。現在建築中の方もお問い合わせください。

ぎふの木ネット協議会

あなたの人生設計から最適な建築計画をいっしょに考えます。
工務店・ビルダーのマッチングもお任せください!



すべては、未来の森と人のために。



ぎふの木ネット協議会事務局
〒501-6019 岐阜県羽島郡岐南町みやまち 1-3 (ヤマガタヤ産業株式会社内)
TEL:058-271-3111 / FAX:058-271-3116